

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果から

「全国学力・学習状況調査」は、全国の小6・中3を対象に毎年実施されています。6年生の調査結果から見える「北栄の子どもたちの姿の一端」についてお知らせいたします。

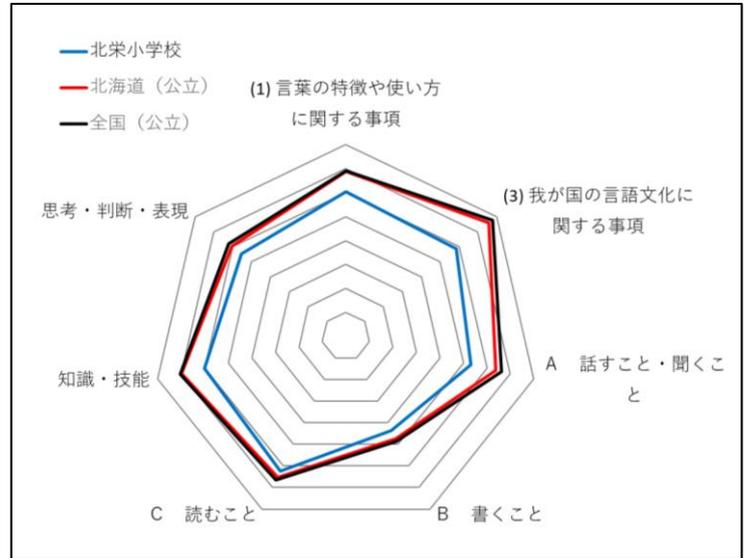
【国語】

全ての領域、観点において全国を下回る結果となりました。

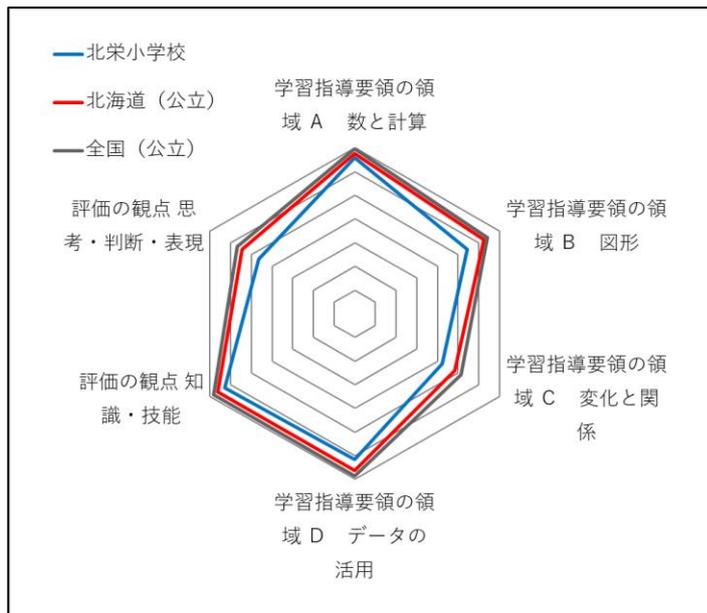
我が国の言語文化に関する事項（漢字の書き取り問題）については、全国平均を大きく下回る結果となりましたが、「親しむ」という漢字の書き取りについては、全国平均を上回る結果となっています。

全体的に、全国との差は縮小傾向にあり、日常の取組が力として身に付いてきたことがうかがえます。

昨年同様、「話すこと・聞くこと」に課題が見られていますので、日常の授業の中での伝え合う活動に力を入れ、子どもたちの協動的な学びの充実を図る必要があります。また、読書量の少なさも昨年同様、本校の課題でありますので、読書習慣の定着に向けた取組を学校・家庭で連携して推進する必要があります。



【算数】



全ての領域、観点において全国を下回る結果となりましたが、各領域における全国平均との差は、縮小傾向にあります。昨年度までの課題であった、「数と計算」領域では、半数の問題で全国平均を上回るなど、成果が見られています。

昨年同様、「図形」領域での課題が見られており、授業改善も含め全校での取組が必要となります。また、記述式問題への課題が見られており、校内研修と連携した取組を推進し、自分の考えを言葉に表出し、文章化する力の育成を目指します。

【質問紙調査から】

全国学力・学習状況調査では、国語、算数、理科の学習調査のほかに、学習に対する興味関心や、学習・生活習慣、規範意識などについてアンケート形式で答える、「質問紙調査」が実施されています。

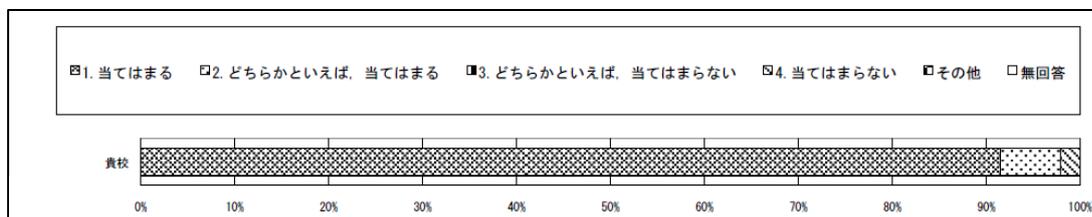
本校の子どもたちに見られる特徴的な側面についてお知らせします。

肯定的（プラス）な項目

- ・朝食を毎日食べる
- ・自己肯定感
- ・良さを認めてもらえる
- ・正義感
- ・人の役に立ちたい
- ・学校が楽しい
- ・授業がわかる
- ・道徳授業への取組
- ・算数の問題にあきらめずに取り組む

学習への関心
規範意識
自己有用感

★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

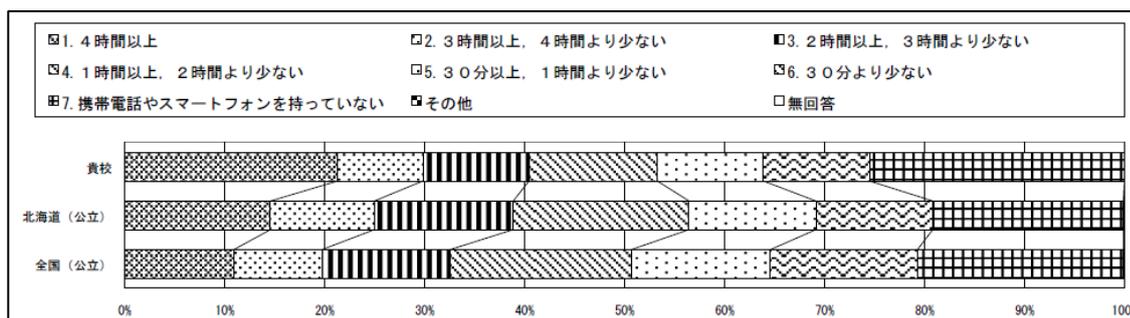


否定的（マイナス）な項目

- ・スマホのルール遵守
- ・ゲームや動画視聴時間
- ・あきらめないで挑戦
- ・人を助ける
- ・読書時間、読書への興味
- ・新聞を読む習慣
- ・地域行事への参加
- ・家庭学習への取組や取組時間

学習習慣
生活習慣

★普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



【学校と家庭では・・・】

学校では・・・

① 基礎・基本の確実な定着を図ります

- ・漢字や計算への反復学習に取り組めます
- ・資料や問題文を読む体験の積み重ねに取り組めます
- ・習熟度別少人数指導の効果的な活用を図ります
- ・ICTドリルの効果的な活用を図ります
- ・チャレンジテストの活用に努めます
- ・校内研修と連動し、基礎基本の定着を目指した授業改善に努めます

② 組織としての授業改善を図ります

- ・1時間の授業の流れの確実な定着（課題とまとめ、伝え合う場面が明確な授業）を図ります
- ・学習の足跡がわかるノートづくりへの取組を進めます
- ・各種調査結果の早期分析、改善プランへの反映を図ります

③ 学習規律や学習習慣の定着を図ります

- ・全校で学習規律の指導徹底と家庭学習の取組推奨、賞賛に努めます

④ 特別の教科道徳の授業の充実を図ります

- ・授業を通し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を図ります

家庭では・・・「よくわかる！北栄小学校」を活用し、
よりよい学習習慣、生活習慣の定着に向けた取組へのご協力をお願いします

⑤ 家庭学習や読書習慣の育成・定着をお願いします

- ・10分間×学年を目標に、時間帯を決めて毎日継続するよう声かけをお願いします

⑥ よりよい生活習慣定着に向けて

- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の意識の育成をお願いします
- ・テレビやゲーム時間を減らし、家庭学習・読書・団らん時間にするようお願いします